

# ホームドア整備に関するWG (第3回)

日 時 令和元年7月18日(木) 16:00~18:00  
場 所 一般財団法人運輸総合研究所 2階会議室

## 議事次第

### 1. 開会

### 2. 議事

- (1) 利用者向けアンケート調査結果について  
視覚障害者向けアンケート調査結果について
- (2) ホームドアの更なる整備促進について

### 3. 閉会

# ホームドア整備に関するWG

## 委員等名簿

(敬称略・順不同)

座長	秋山 哲男	中央大学研究開発機構	教授
委員	鎌田 実	東京大学大学院新領域創成科学研究科	教授
〃	竹下 義樹	社会福祉法人 日本盲人会連合	会長
〃	河野 康子	一般財団法人 日本消費者協会	理事
〃	松橋 賢一	東日本旅客鉄道株式会社	鉄道事業本部 安全企画部長
〃	深谷 光浩	東日本旅客鉄道株式会社	総合企画本部 投資計画部長
〃	田遠 洋一郎	東海旅客鉄道株式会社	総合企画本部 投資計画部長
〃	古橋 智久	東海旅客鉄道株式会社	安全対策部長
〃	中村 圭二郎	西日本旅客鉄道株式会社	鉄道本部 安全推進部長
〃	畑中 克也	西日本旅客鉄道株式会社	総合企画本部担当部長
〃	前川 聡幸	九州旅客鉄道株式会社	鉄道事業本部 安全創造部長
〃	志村 健	東武鉄道株式会社	鉄道事業本部 計画管理部長
〃	寺田 雄一郎	京王電鉄株式会社	取締役鉄道事業本部副本部長 計画管理部長
〃	小川 司	小田急電鉄株式会社	交通サービス事業本部 交通企画部長
〃	小井 陽介	東京急行電鉄株式会社	鉄道事業本部 事業戦略部 統括部長
〃	竹内 明男	京浜急行電鉄株式会社	鉄道本部 鉄道統括部長
〃	金口 正幸	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 企画統括部 営業企画部長
〃	中村 規彦	阪急電鉄株式会社	都市交通計画部部長
〃	田地 朗	東京地下鉄株式会社	鉄道本部 鉄道統括部長
〃	西川 善宣	東京都 交通局	総務部 安全管理担当部長
〃	小林 圭治	一般社団法人 日本民営鉄道協会	企画財務部長
〃	寺田 吉道	国土交通省	鉄道局次長
〃	江口 秀二	国土交通省	鉄道局技術審議官
〃	吉田 昭二	国土交通省	鉄道局 都市鉄道政策課長
〃	馬場 裕子	国土交通省	鉄道局 都市鉄道政策課 駅機能高度化推進企画官
〃	岸谷 克己	国土交通省	鉄道局 技術企画課長
オブザーバー	奈良 裕信	国土交通省	総合政策局 安心生活政策課長
〃	上手 研治	国土交通省	鉄道局 鉄道サービス政策室長

### 第3回 ホームドア整備に関するWG

#### 出席者名簿

(敬称略・順不同)

座長	秋山 哲男	中央大学研究開発機構	教授
委員	鎌田 実	東京大学大学院新領域創成科学研究科	教授
〃	三宅 隆	社会福祉法人 日本盲人会連合	情報部長
〃	河野 康子	一般財団法人 日本消費者協会	理事 (※ご欠席)
〃	深谷 光浩	東日本旅客鉄道株式会社	総合企画本部 投資計画部長
〃	中達 太郎	東日本旅客鉄道株式会社	鉄道事業本部 安全企画部 次長
〃	田遠 洋一郎	東海旅客鉄道株式会社	総合企画本部 投資計画部長
〃	古橋 智久	東海旅客鉄道株式会社	安全対策部長
〃	中村 圭二郎	西日本旅客鉄道株式会社	鉄道本部 安全推進部長
〃	畑中 克也	西日本旅客鉄道株式会社	総合企画本部 担当部長
〃	山崎 一之	九州旅客鉄道株式会社	鉄道事業本部 安全創造部 副課長
〃	志村 健	東武鉄道株式会社	鉄道事業本部 計画管理部長
〃	寺田 雄一郎	京王電鉄株式会社	取締役鉄道事業本部副本部長 計画管理部長
〃	小川 司	小田急電鉄株式会社	交通サービス事業本部 交通企画部部長
〃	小井 陽介	東京急行電鉄株式会社	鉄道事業本部 事業戦略部 統括部長
〃	竹内 明男	京浜急行電鉄株式会社	鉄道本部 鉄道統括部長
〃	金口 正幸	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 企画統括部 営業企画部長
〃	中村 規彦	阪急電鉄株式会社	都市交通計画部 部長
〃	田地 朗	東京地下鉄株式会社	鉄道本部 鉄道統括部長
〃	西川 善宣	東京都 交通局	総務部 安全管理担当部長
〃	小林 圭治	一般社団法人 日本民営鉄道協会	企画財務部長
〃	寺田 吉道	国土交通省	鉄道局次長
〃	江口 秀二	国土交通省	鉄道局技術審議官
〃	吉田 昭二	国土交通省	鉄道局 都市鉄道政策課長
〃	馬場 裕子	国土交通省	鉄道局 都市鉄道政策課 駅機能高度化推進企画官
〃	岸谷 克己	国土交通省	鉄道局 技術企画課長
オブザーバー	奈良 裕信	国土交通省	総合政策局 安心生活政策課長
〃	上手 研治	国土交通省	鉄道局 鉄道サービス政策室長

# 第3回 ホームドア整備に関するWG

日時: 令和元年7月18日(木) 16:00~18:00

場所: 一般財団法人運輸総合研究所 2階会議室

鎌田 実 (東京大学大学院 創成科学研究科 新領域創成科学研究科 教授)

秋山 哲男 (中央大学 研究開発機構 教授)

三宅 隆 (福) 日本盲人会連合 情報部長

(福) 日本盲人会連合 ガイドヘルパー

○ ◎ ○ ○

東日本旅客鉄道(株) 総合企画本部 投資計画部長 深谷 光浩 ○

東日本旅客鉄道(株) 鉄道事業本部 安全企画部 次長 中 達 太 郎 ○

東海旅客鉄道(株) 総合企画本部 投資計画部 部長 田 遠 洋 一 郎 ○

東海旅客鉄道(株) 安全対策部 部長 古 橋 智 久 ○

西日本旅客鉄道(株) 鉄道本部 安全推進部長 中 村 圭 二 郎 ○

西日本旅客鉄道(株) 総合企画本部 担当部長 畑 中 克 也 ○

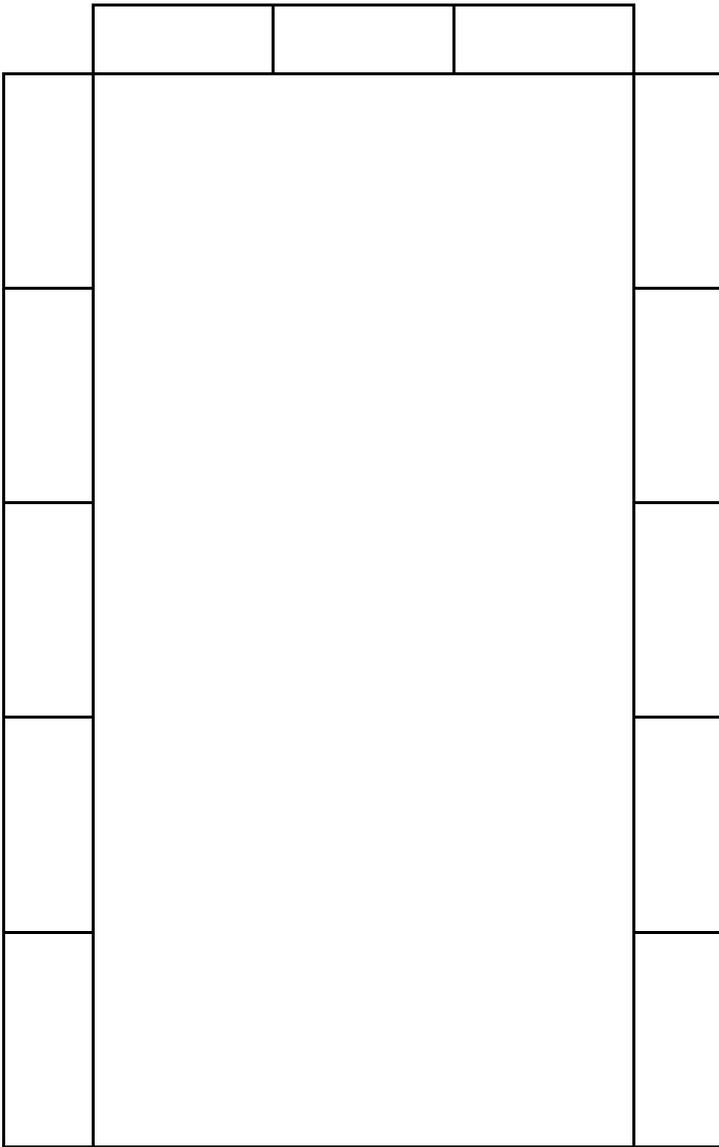
九州旅客鉄道(株) 鉄道事業本部 安全創造部 副課長 山 崎 一 之 ○

東武鉄道(株) 鉄道事業本部 計画管理部長 志 村 健 ○

京王電鉄(株) 鉄道事業本部 計画管理部長 寺 田 雄 一 郎 ○

小田急電鉄(株) 交通サービス事業本部 交通企画部部長 小 川 司 ○

随行者席



東京急行電鉄(株) 鉄道事業本部 事業戦略部 総括部長 小 井 陽 介 ○

京浜急行電鉄(株) 鉄道本部 鉄道統括部長 竹 内 明 男 ○

近畿日本鉄道(株) 鉄道本部 企画統括部 営業企画部長 金 口 正 幸 ○

阪急電鉄(株) 都市交通計画部 部長 中 村 規 彦 ○

東京地下鉄(株) 鉄道本部 鉄道統括部長 田 地 朗 ○

東京都交通局 総務部 安全管理担当部長 西 川 善 宣 ○

(一社) 日本民営鉄道協会 企画財務部長 小 林 圭 治 ○

国土交通省総合政策局 安心生活政策課長 奈 良 裕 信 ○

国土交通省鉄道局 鉄道サービス政策室長 上 手 研 治 ○

国土交通省鉄道局 都市鉄道政策課専門官 有 馬 英 晴 ○

随行者席

信都 太 市 鐵 道 政 策 課 企 画 調 整 官

国 土 交 通 省 鐵 道 局 吉 道

吉 都 市 鐵 道 政 策 課 長

国 土 交 通 省 鐵 道 局 昭 二

寺 次 長

国 土 交 通 省 鐵 道 局 吉 道

江 技 術 審 議 官 秀 二

国 土 交 通 省 鐵 道 局 克 己

岸 技 術 企 画 課 長

国 土 交 通 省 鐵 道 局 裕 子

馬 駅 機 場 高 度 化 推 進 企 画 官

都 市 鐵 道 政 策 課

国 土 交 通 省 鐵 道 局

随行者席

出 入 口

【機密性2】

資料 1

# 利用者向けアンケート調査結果について

1. ホームドアの整備に関するアンケートの概要	1
2. 調査結果の概要	2
3. (参考) 調査対象者の鉄道利用状況	6

# ホームドアに関するアンケート調査の概要

## アンケート調査の概要

項目	内容
調査目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現状、利用者がホームドアをどのような施設としてとらえているか調査し、地域間の差異等を確認する。</li> <li>■ ホームドアを優先整備すべき駅ホームの条件を抽出するため、利用者が転落の危険を感じるホームの条件等を調査する。</li> </ul>
調査対象者	全国を国勢調査に基づく以下の5エリアに分け、各グループ800名、合計4,000名から意見を聴収する ①関東大都市圏、②近畿大都市圏、③中京大都市圏、④その他の大都市圏※1、⑤大都市圏に含まれない地域 ※1 札幌、仙台、新潟、静岡・浜松、岡山、広島、北九州・福岡、熊本の8つの大都市圏。
調査年齢	20歳以上（ただし、各エリアの性年齢階層別の人口比に基づいて回答者数を決定）
調査媒体	インターネット調査
回答数の補正	各エリアの人口差を考慮するため、エリアおよび性年齢階層別に拡大係数を乗じ、補正して集計した。
調査内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 鉄道の利用状況について</li> <li>② 自宅最寄り駅におけるホームドアの設置状況および当該駅への設置意向について</li> <li>③ 利用者が転落の危険を感じるホームの条件等について</li> <li>④ ホームドアの意義、役割について</li> <li>⑤ 新型ホームドアの整備・普及について</li> <li>⑥ ホームドア以外の転落防止対策に対する印象について</li> <li>⑦ 心のバリアフリーを実践するための行動について</li> </ol>

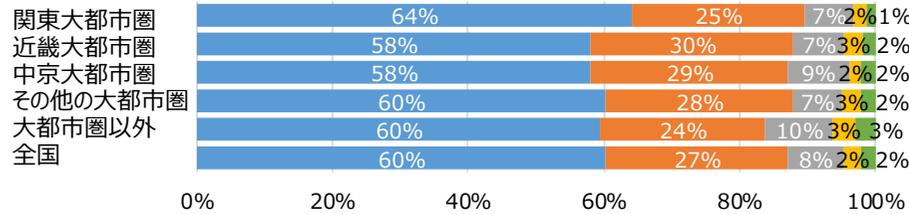
# 調査結果の概要(1/4)

## ホームドア設置の必要性

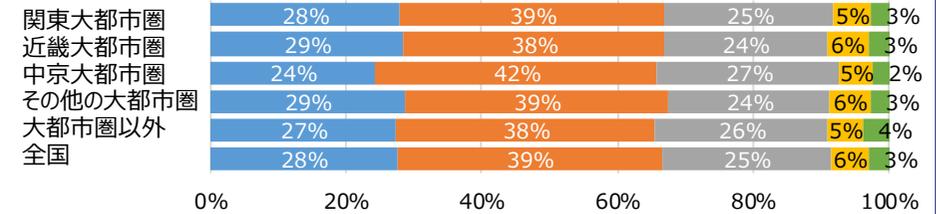
- 転落や接触の危険があると利用者が感じるホームの状態としては、全国において、「混雑しているホーム」(87%)が最も多く、次いで「狭い箇所」(83%)、「高速で通過するホーム」(79%)、「島式のホーム」(67%)の順となっている。
- 駅における転落・接触のヒヤリハットの発生時間帯は、近畿では「18～20時台」で最も多いが、それ以外の地域では「始発～8時台」で最も多くなっている。
- 駅における転落・接触のヒヤリハットの発生原因としては、「混雑時に他の利用者と接触」が最も多く、次いで「狭隘な箇所での他の利用者と接触」となっている。

## ホームドアが設置されていない以下①～④の状態のホームについて、転落や接触の危険があると思いますか。

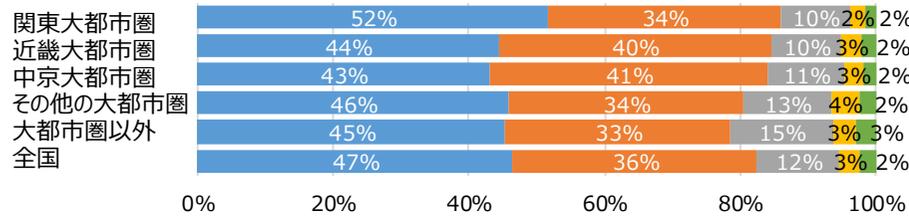
### ①乗降客が多く「混雑しているホーム」



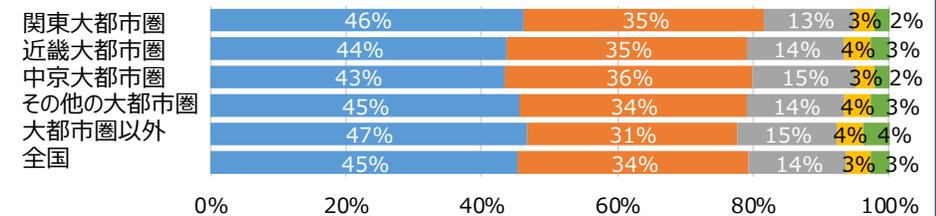
### ③ホームの両側に列車が停まる「島式のホーム」



### ②階段の脇など「ホームの縁端からの間隔が狭い箇所」



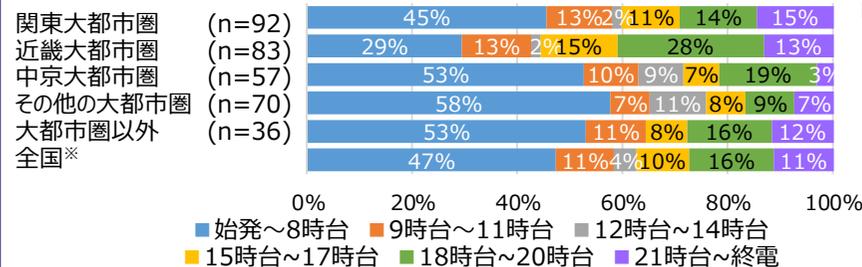
### ④特急などの優等列車が「高速で通過するホーム」



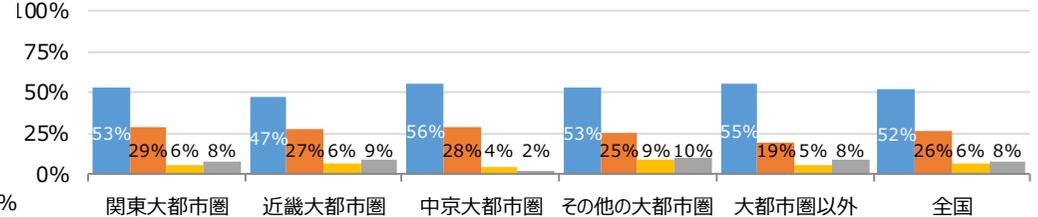
■ 大変危険 ■ 少し危険 ■ どちらでもない ■ あまり危険ではない ■ 全く危険ではない

## 駅における転落・接触のヒヤリハットの発生状況

### 発生時間帯



### 発生原因 (上位4要因、複数回答あり)



※全国の結果は、各地域の結果を人口分布に応じて補正して集計している。

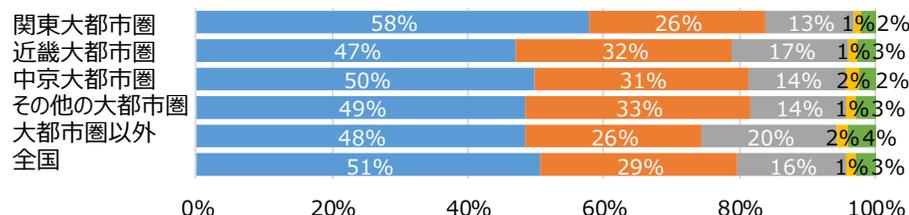
# 調査結果の概要(2/4)

## ホームドア設置の必要性

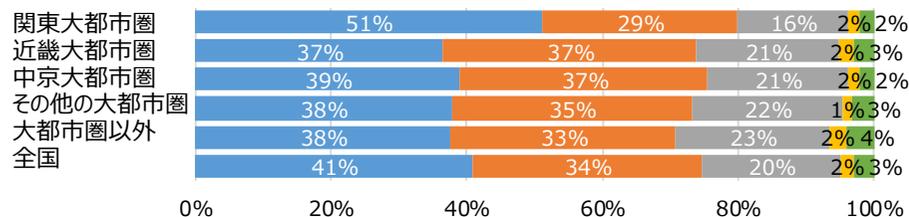
- 全国において設置が望まれるホームの状態としては、「混雑しているホーム」(80%)が最も多く、次いで「狭い箇所」(74%)、「高速で通過するホーム」(74%)、「島式のホーム」(65%)の順となっている。
- 関東大都市圏では、①～④の状態のホームについて、それぞれ「設置してほしい」と回答した人の割合が他の地域に比べ高くなっている。

### 以下①～④の状態のホームについて、それぞれホームドアを設置してほしいと思いますか。

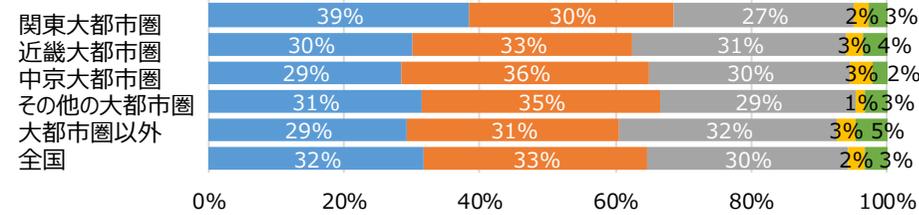
#### ①乗降客が多く「混雑しているホーム」



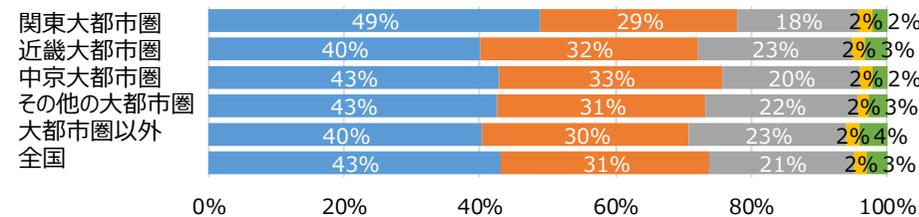
#### ②階段の脇など「ホームの縁端からの間隔が狭い箇所」



#### ③ホームの両側に列車が停まる「島式のホーム」



#### ④特急などの優等列車が「高速で通過するホーム」



■ 設置してほしい ■ どちらかといえば設置してほしい ■ どちらでもよい ■ どちらかといえば不要 ■ 不要

### ①～④の他、特にホームドアを設置してほしいと思う箇所はありますか。

#### 【自由記述より抜粋(参考)】

- ・酔客が多い駅、飲食店が多い駅
- ・行き先が複雑で動線上で滞留しやすい駅
- ・病院や福祉施設の近くの駅
- ・定期的にイベントが開催され利用客が多い駅
- ・学校が近くにあり通学に多く使われる駅

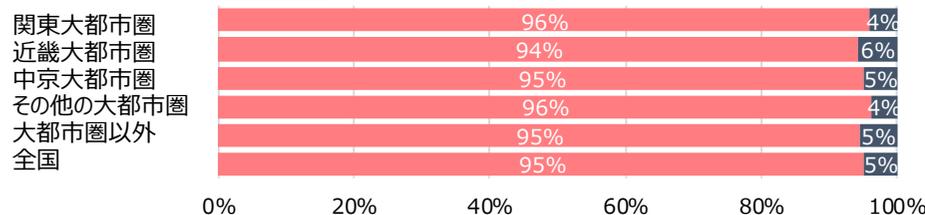
# 調査結果の概要(3/4)

## ホームドア設置の意義

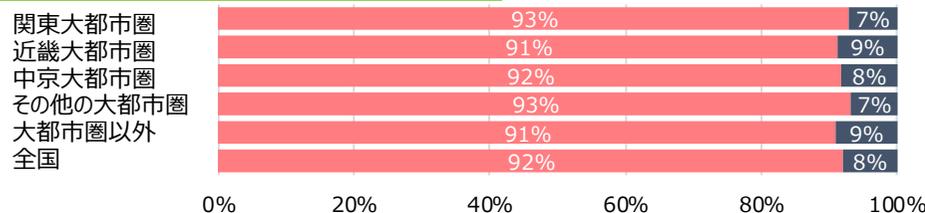
- 視覚障害をお持ちの方に対する必要性が95%、視覚障害以外の身体障害をお持ちの方に対する必要性が92%となっており、必要性が高くなっている。
- 次いで、高齢者に対する必要性が91%、幼児・ベビーカー利用者に対する必要性が86%となっている。
- 「すべての利用者のため」と感じる割合も85%を占め、ホームドア設置がすべての利用者にとって必要と広く認識されていることがわかる。

## ホームドアは誰のための転落等防止対策だと思いますか。

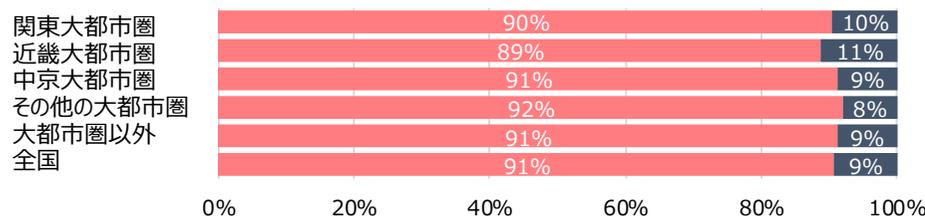
### ① 視覚障害をお持ちの方のため



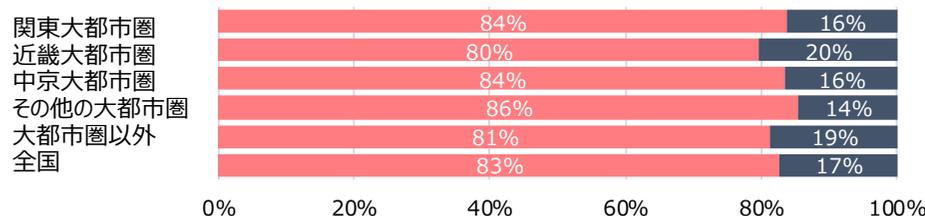
### ② 視覚障害以外の身体障害をお持ちの方のため



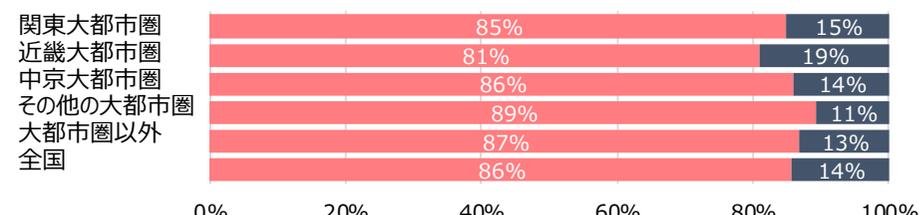
### ③ 高齢者のため



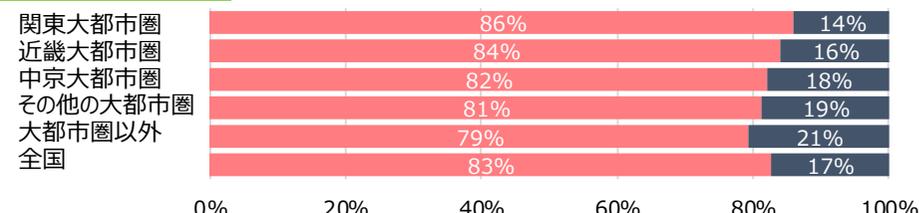
### ④ 体調不良の方のため



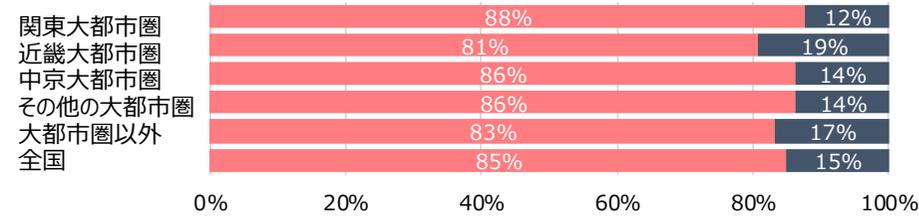
### ⑤ 幼児を連れている方/ベビーカーを利用されている方のため



### ⑥ 酒に酔った方のため



### ⑦ すべての利用者のため



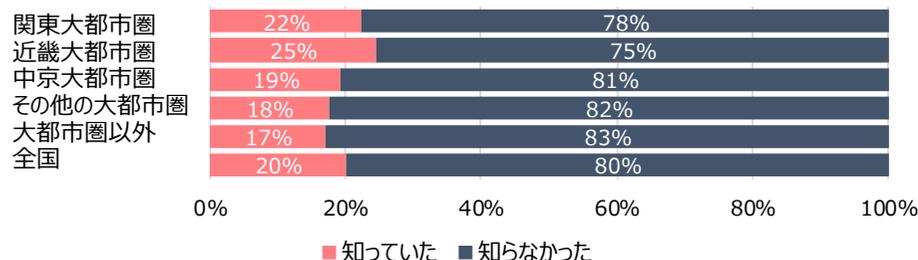
■ そう思う ■ そう思わない

# 調査結果の概要(4/4)

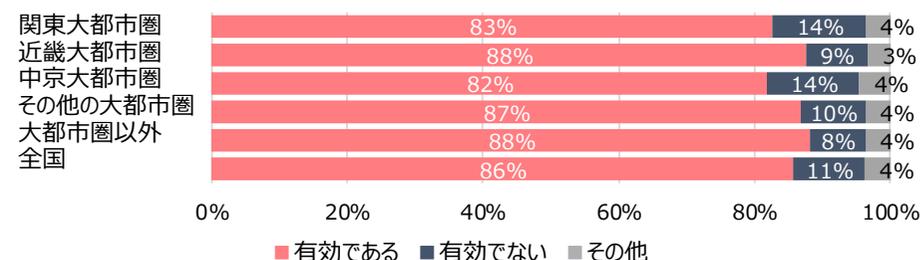
## 新型ホームドア、ホームドア以外の転落防止策について

- ホームドアの設置費については、高額であることの認知度が低い。
- 新型ホームドアに対しては抵抗が少なく、整備促進に有効であると感じている。
- 固定柵や駅係員の配置については、70%以上の回答者が有効であると感じている。

### ホームドアの整備費用が数億円～十数億円/駅とご存知でしたか

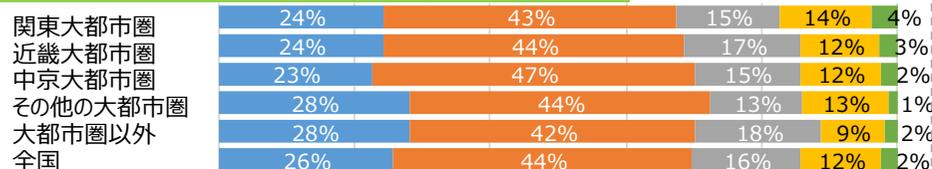


### 新型ホームドアの普及についてどのように感じますか



## ホームドアの設置以外の転落・列車との接触事故を防止するための対策について、どのように考えますか。

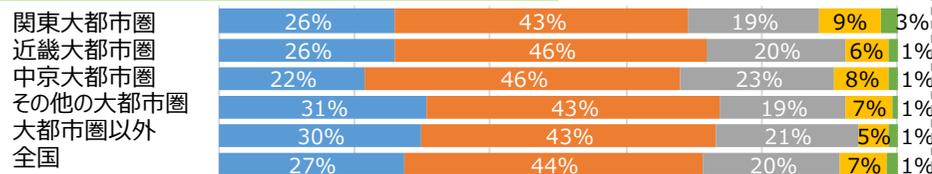
### ①列車の乗降口以外の部分を覆う、「固定柵ホーム柵」の設置



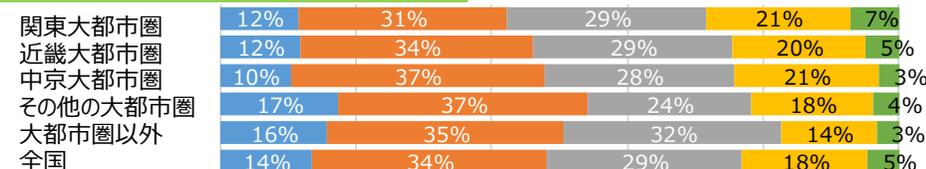
### ②ホーム緑端における「色帯や縞模様の設置」



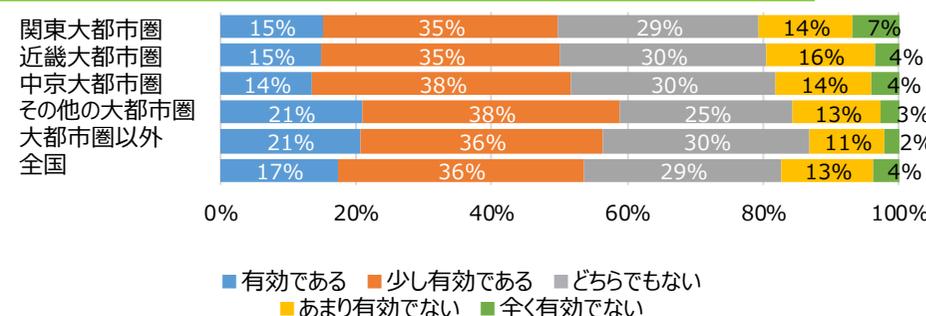
### ③ホーム上での監視・アナウンスを行う「駅係員」の配置



### ④「駅構内放送」等による旅客への注意喚起

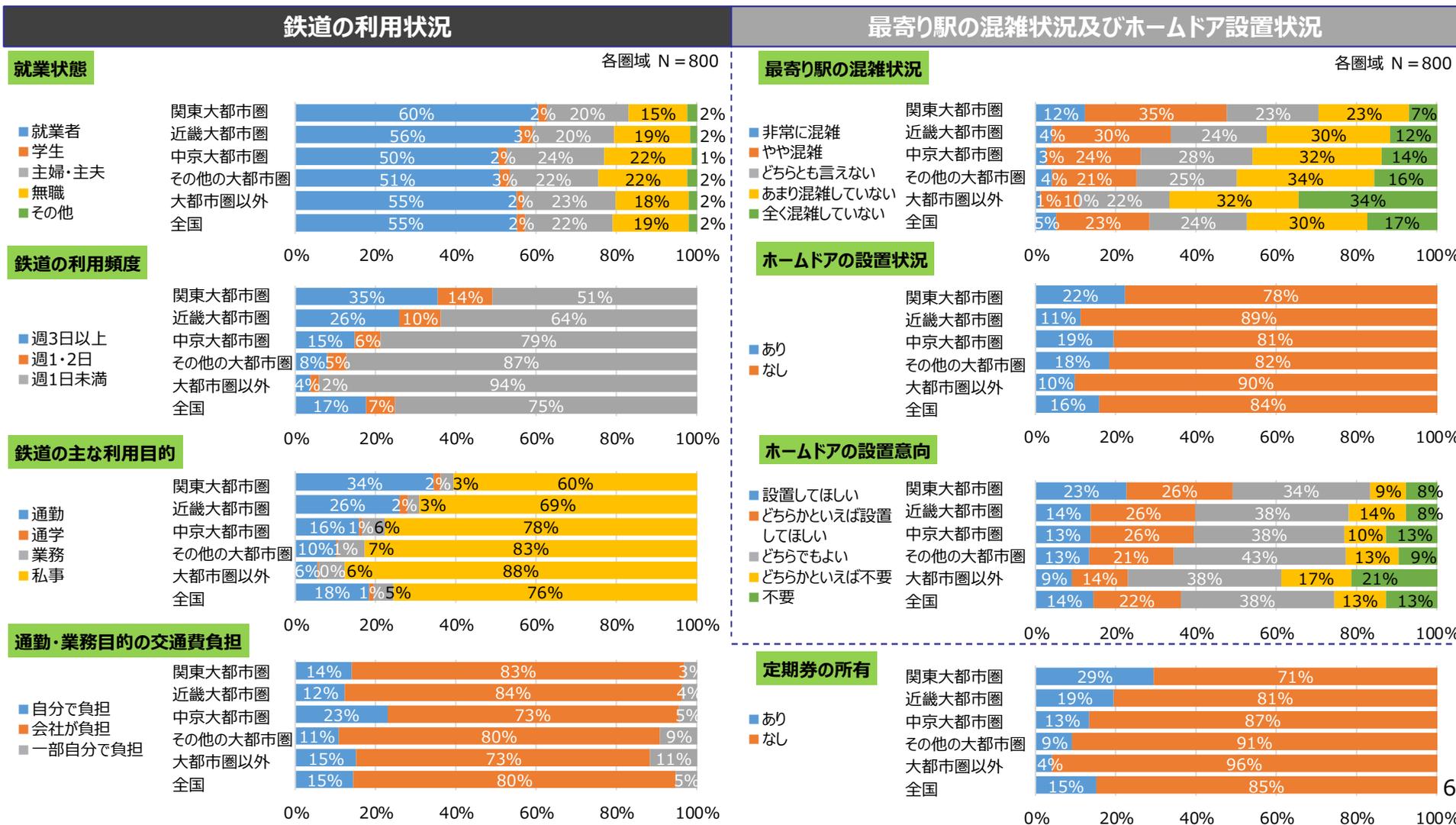


### ⑤一般の利用者が気軽に「声かけ・サポート」ができるようするための啓発活動



# (参考)調査対象者の鉄道利用状況

- 鉄道の利用頻度は、関東、近畿、中京大都市圏の順で「週1日以上」の利用が多い。
- 鉄道の主な利用目的は、関東、近畿、中京大都市圏の順で「通勤」が多いが、どの地域においても「私事」が最も多い。
- 調査対象者の最寄り駅については、関東では47%、近畿では34%、中京では27%の利用者が「混雑している」と認識している。
- 最寄り駅にホームドアが設置されていない方のホームドア設置意向としては、関東、近畿では45~50%、中京、他の大都市圏では35~40%が設置を希望している。



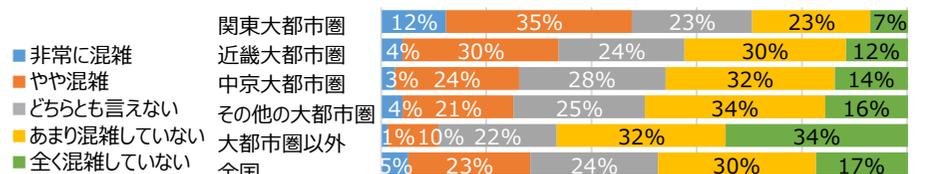
# (参考)利用者が混雑していると感じている駅に着目した集計

- 調査対象者の最寄り駅については、関東では47%、近畿では34%、中京では25%の利用者が「混雑している」と認識している。
- 調査対象者の最寄り駅へのホームドア設置意向としては、関東、近畿では45~50%、中京、他の大都市圏では35~40%が設置を希望している。
- 「混雑している」駅では、わずかではあるがホームドアの整備が進んでいることがわかる。
- 「混雑している」駅では、ホームドアの設置を希望する割合が高く、関東、中京では64%、近畿、他の大都市圏では56%となっている。

## 最寄り駅の混雑状況及びホームドア設置状況 (再掲)

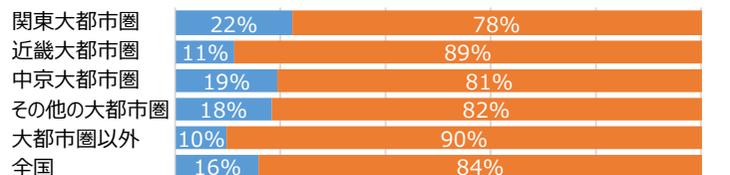
### 最寄り駅の混雑状況

各圏域 N = 800



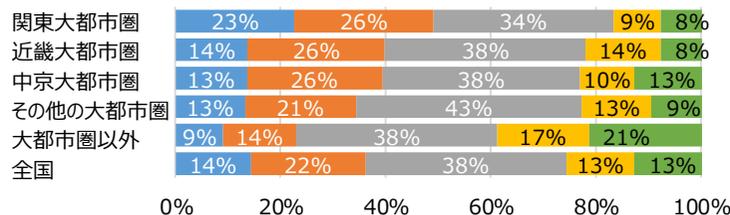
### ホームドアの設置状況

- あり
- なし



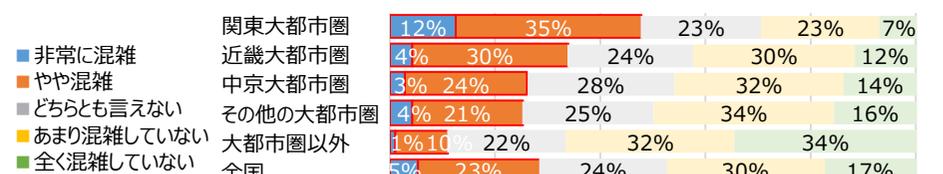
### ホームドアの設置意向

- 設置してほしい
- どちらかといえば設置してほしい
- どちらでもよい
- どちらかといえば不要
- 不要



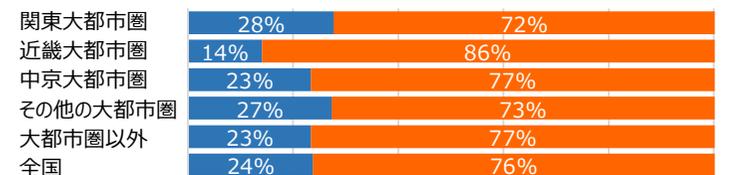
## 利用者が混雑していると感じている駅のみ

### 最寄り駅の混雑状況



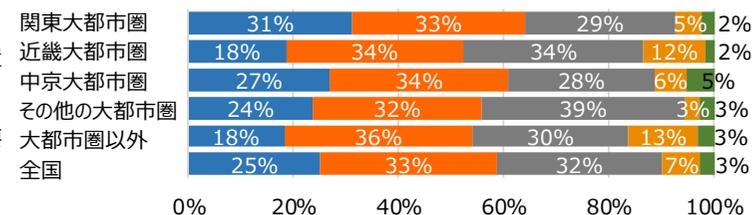
### ホームドアの設置状況

- あり
- なし



### ホームドアの設置意向

- 設置してほしい
- どちらかといえば設置してほしい
- どちらでもよい
- どちらかといえば不要
- 不要



## (参考) 鉄道の利用頻度とホームドアの存在意義

- 週1以上の利用者は全国において、「視覚障害者のための施設」(95%)で週1回未満の利用者と同数である。
- 「他の障害者のための施設」(91%)、「高齢者のための施設」(89%)「幼児・ベビーカー」(84%)は週1回未満利用に比べて割合が小さくなっている
- 一方で、「体調不良の人のため」(84%)、「酔客のため」(85%)は週1回未満利用に比べて割合が大きくなっている。

### 週1日以上利用

#### 幼児・ベビーカーを連れた人のための施設



#### 酔客のための施設

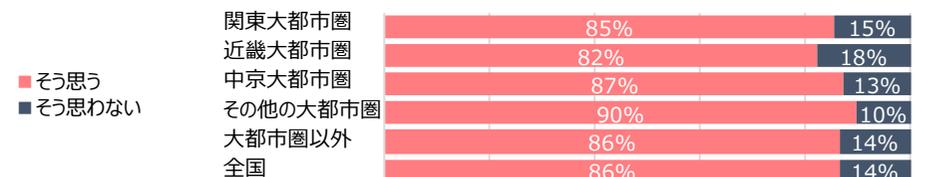


#### すべての利用者のための施設

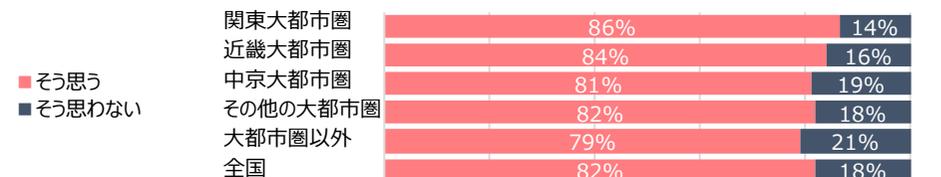


### 週1回未満利用

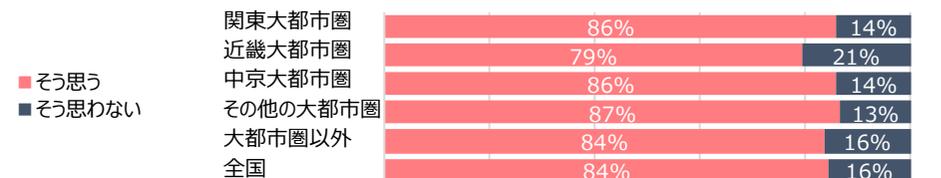
#### 幼児・ベビーカーを連れた人のための施設



#### 酔客のための施設



#### すべての利用者のための施設



【機密性2】

資料 2

# 視覚障害者向けアンケート調査結果について

1. ホームドアの整備に関するアンケート（視覚障害者対象）の概要 1
2. 調査結果の概要 2
3. （参考）調査対象者の鉄道利用状況 6

# ホームドアに関するアンケート調査(視覚障害者対象)の概要

## アンケート調査(視覚障害者対象)の概要

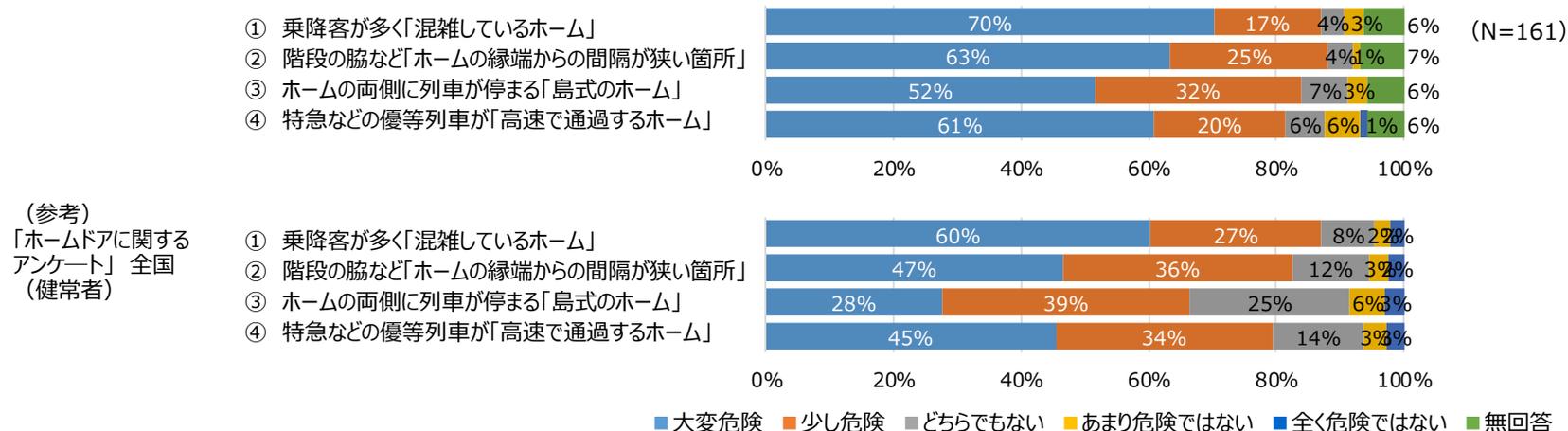
項目	内容
調査目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 視覚障害者の方がホームドアをどのような施設としてとらえているか調査・確認を行う。</li> <li>■ ホームドアを優先整備すべき駅ホームの条件を抽出するため、視覚障害者の方が転落の危険を感じる、または実際にヒヤリハットが発生したホームの条件等を調査する。</li> </ul>
調査対象者	社会福祉法人日本盲人会連合より、加盟団体(計61団体)宛て、登録者向けのメールニュースにて、送付(合計161人から意見を聴収)
調査年齢	指定せず
調査媒体	メールによる個別調査
調査内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 鉄道の利用状況について</li> <li>② 自宅最寄り駅におけるホームドアの設置状況について</li> <li>③ 視覚障害者が転落の危険を感じるホームの条件等について</li> <li>④ ホームドアの意義、役割について</li> <li>⑤ 新型ホームドアの整備・普及について</li> <li>⑥ ホームドア以外の転落防止対策に対する印象について</li> <li>⑦ 心のバリアフリーを実践するための行動について</li> </ol>

# 調査結果の概要(1/4)

## ホームドア設置の必要性

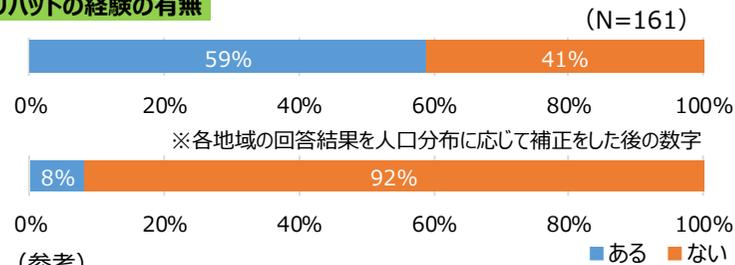
- 転落や接触の危険があると利用者が感じるホームの状態としては、「狭い箇所」(88%)が最も多く、次いで「混雑しているホーム」(87%)「島式のホーム」(84%)、「高速で通過するホーム」(81%)の順となっている。
- いずれも全国(健常者)を対象としたアンケート結果よりも高い。

## ホームドアが設置されていない以下①～④の状態のホームについて、転落や接触の危険がありますか。

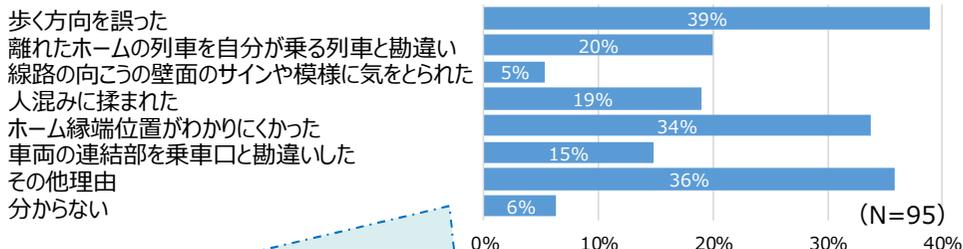


## 駅における転落・接触のヒヤリハットの発生状況

### ①ヒヤリハットの経験の有無



### ②発生したときの状況(複数回答)



### ○その他理由の抜粋

- ・ホームと列車の間に広く隙間が空いていた。
- ・車両の最後尾で思ったよりホームが狭くなっていた。
- ・雨で車両とホームとの段差が滑りやすくなっていた。

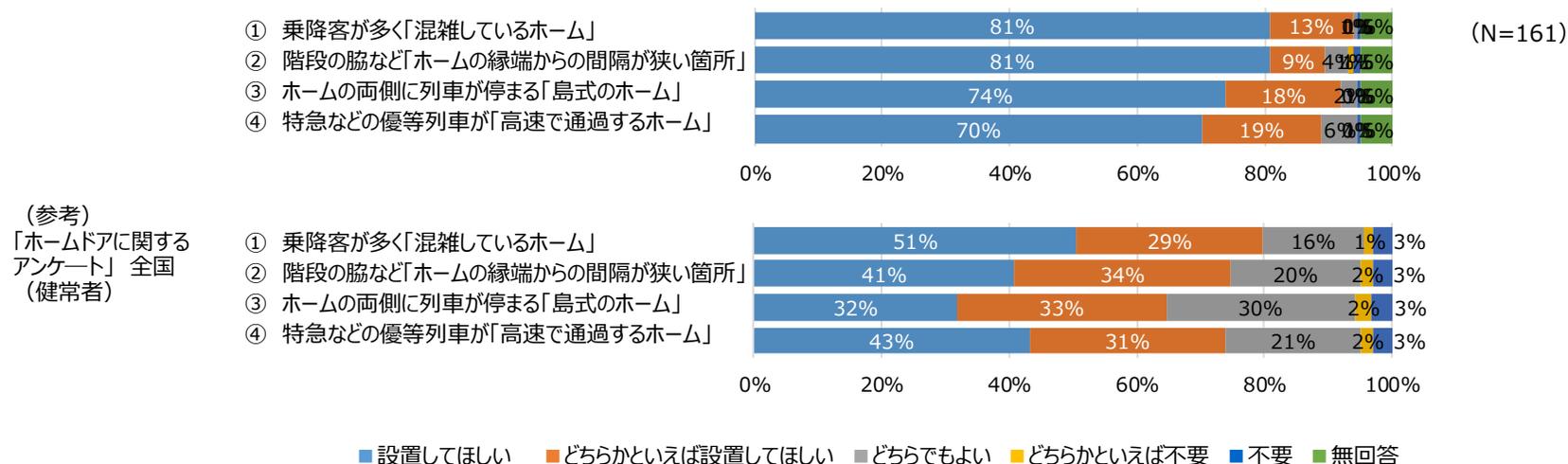
## 調査結果の概要(2/4)

### ホームドア設置の必要性

○設置が望まれるホームの状態としては、「混雑しているホーム」(94%)が最も多く、次いで「島式のホーム」(92%)、「狭いホーム」(90%)、「高速で通過するホーム」(89%)の順となっている。

○いずれも全国(健常者)を対象としたアンケート結果よりも高い。

### 以下①～④の状態のホームについて、それぞれホームドアを設置してほしいと思いますか。



### ①～④の他、特にホームドアを設置してほしいと思う箇所はありますか。

#### 【自由記述より抜粋(参考)】

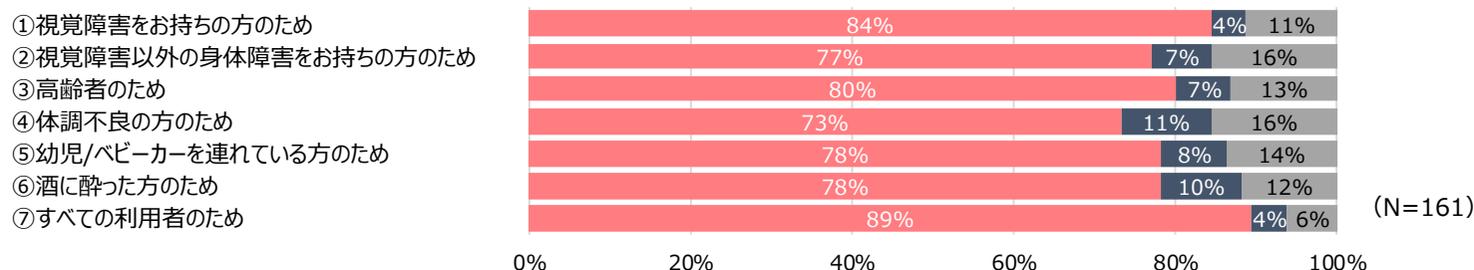
- ・島式ホームで片側にのみホームドアが設置されている駅
- ・無人駅
- ・ホームの最前部と最後部
- ・乗降客が多い駅
- ・列車の侵入が頻繁な駅
- ・柱の多い駅

## 調査結果の概要(3/4)

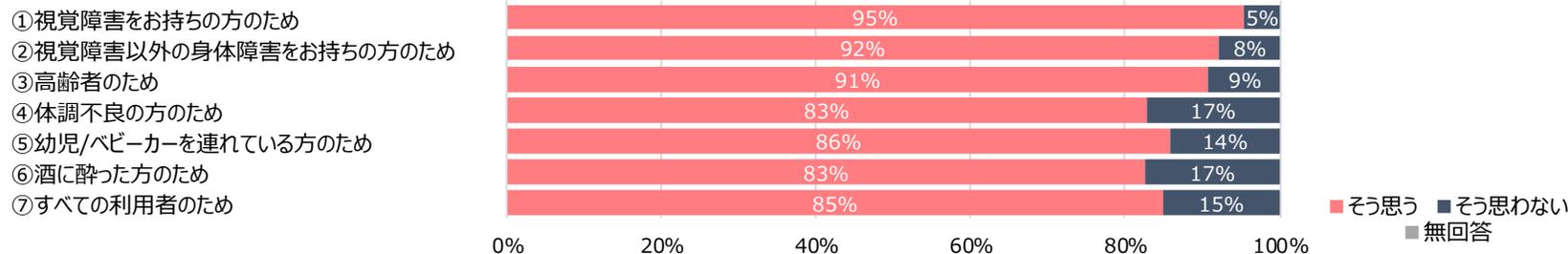
### ホームドア設置の意義

- 「すべての利用者のため」が89%と最も高い。
- 次いで、視覚障害者をお持ちの方に対する必要性が84%となっている。
- 全国（健常者）を対象としたアンケートよりもすべての利用者のためという認識が高い。

### ホームドアは誰のための転落等防止対策だと思いますか。



(参考)  
「ホームドアに関する  
アンケート」全国  
(健常者)

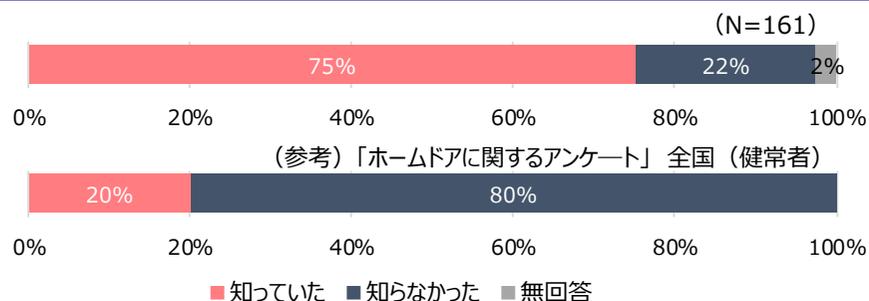


# 調査結果の概要(4/4)

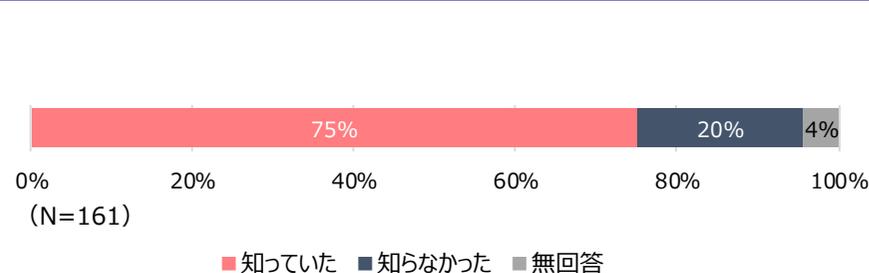
## 新型ホームドア、ホームドア以外の転落防止策について

- ホームドアの設置費については、高額であることの認知度が75%。全国（健常者）での結果よりも認知度が非常に高い。
- 新型ホームドアの認知度は75%。
- 「声かけ・サポート」ができるようにするための啓発活動が93%、ホーム上での監視・アナウンスを行う「駅係員」の配置は91%の回答者が有効であると感じている。

### ホームドアの整備費用が数億円～十数億円/駅とご存知でしたか

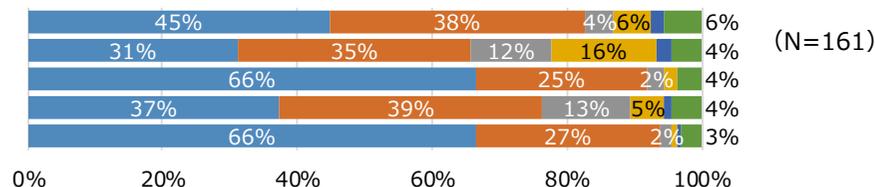


### 新型ホームドアはご存知でしたか



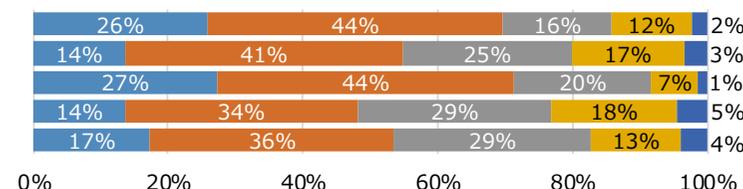
## ホームドアの設置以外の転落・列車との接触事故を防止するための対策について、どのように考えますか。

- ① 「固定式ホーム柵」の設置
- ② ホーム縁端における「色帯や縞模様の設置」
- ③ ホーム上での監視・アナウンスを行う「駅係員」の配置
- ④ 「駅構内放送」等による旅客への注意喚起
- ⑤ 一般の利用者が、障害者等に対して「声かけ・サポート」ができるようにするための啓発活動



(参考)  
「ホームドアに関するアンケート」 全国（健常者）

- ① 「固定式ホーム柵」の設置
- ② ホーム縁端における「色帯や縞模様の設置」
- ③ ホーム上での監視・アナウンスを行う「駅係員」の配置
- ④ 「駅構内放送」等による旅客への注意喚起
- ⑤ 一般の利用者が、障害者等に対して「声かけ・サポート」ができるようにするための啓発活動



■ 大変有効である ■ 少し有効である ■ どちらでもない ■ あまり有効ではない ■ 全く有効ではない ■ 無回答

## (参考)調査対象者の鉄道利用状況など

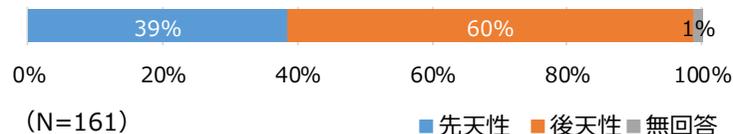
- 161名の回答があり、障害の程度は「全盲」が69%、「弱視（ロービジョン）」が30%。
- 「単独歩行の外出」が60%と最も多い。
- 鉄道の利用頻度は「週1日以上」が58%を占め、私事目的利用が半数以上。
- 最寄り駅のホームドア設置状況は「一部またはすべてのホームに設置されている」との回答は16%。

### 視覚障害について

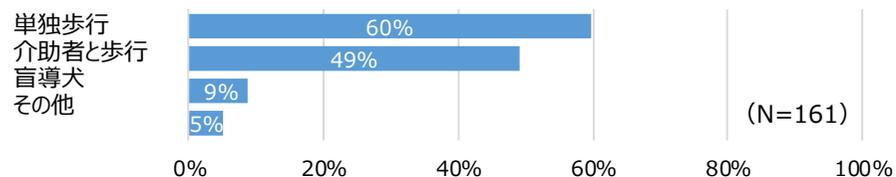
#### ①あなたの視覚障害の程度についてお答えください。



#### ②あなたが視覚障害になったのはいつからですか。



#### ③あなたの外出する主な方法は何ですか。

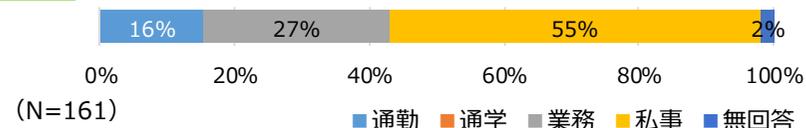


### 鉄道の利用状況

#### ①鉄道の利用頻度



#### ②鉄道の利用目的



### 最寄り駅のホームドア設置状況

#### ①あなたの自宅の最寄り駅のホームに、ホームドアは設置されていますか。

